

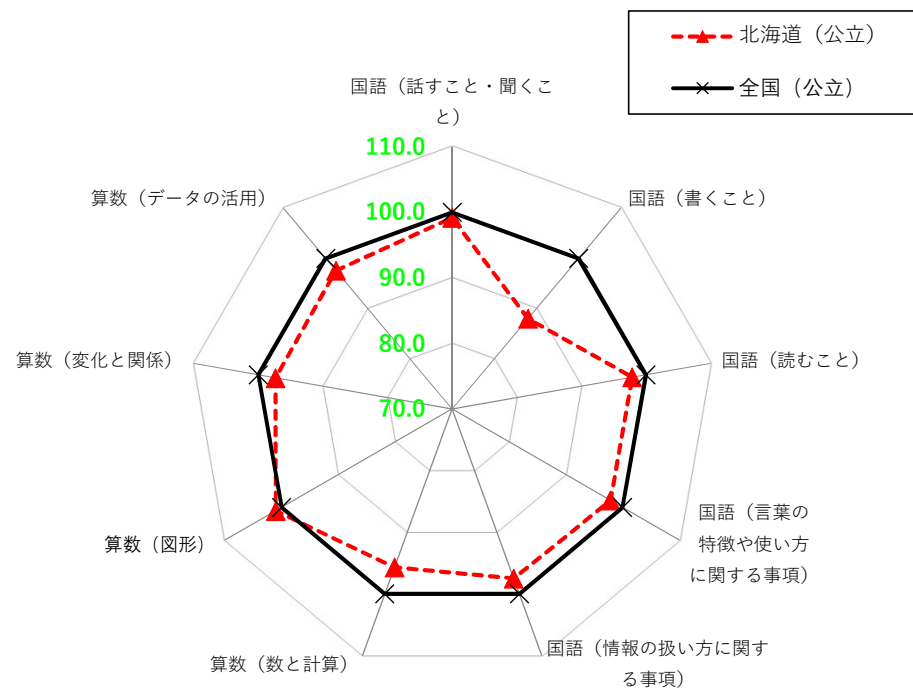
令和5年度 全国学力・学習状況調査

～石狩市の結果分析と
学力保障に向けての取組～

小6の平均正答率

R5年度	国語	算数
石狩市	非公開	
全道	65.8	61.0
全国	67.2	62.5
札幌市を除く 石狩管内	非公開	
札幌市	65.8	63.1

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

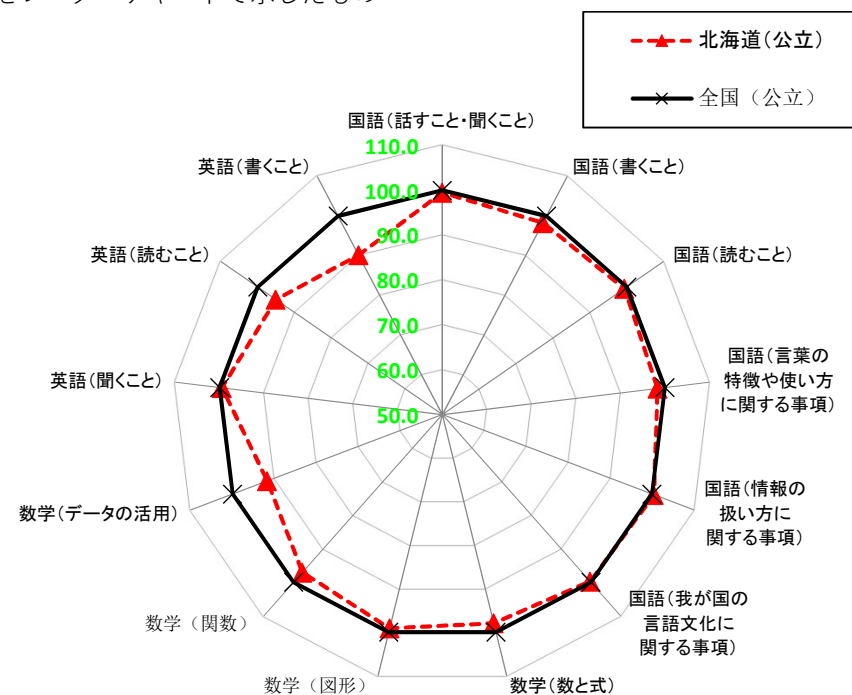


【報告書P1, 5~10】

中3の平均正答率

R5年度	国語	数学	英語
石狩市	非公開		
全道	69.4	49.3	43.9
全国	69.8	51.0	45.6
札幌市を除く 石狩管内	非公開		
札幌市	69.8	51.9	48.1

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの



【報告書P1, 5~13】

全国学力・学習状況調査における石狩市の経年変化（H30～）

石狩市小学校

①全国学力・学習状況調査全国比(グラフは差)

全国との比較(差)

非公開

全国学力・学習状況調査における石狩市の経年変化（H30～）

石狩市中学校

①全国学力・学習状況調査全国比(グラフは差)

全国との比較(差)

非公開

石狩市立各学校の状況

昨年度と比べ平均正答率が向上した学校
(全国比・2教科平均)

■小学校～

■中学校～

非公開

国語、算数・数学の2教科平均で
全国平均を上回った学校

■小学校～

■中学校～

非公開

今年度、国語で
全国平均を上回った学校

■小学校～

■中学校～

非公開

今年度、算数・数学で
全国平均を上回った学校

■小学校～

■中学校～

非公開

全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果から

教科に関して

記号の意味：○全国平均を上回る ≡全国平均同様 ▲全国平均を下回る

小学校

〔国語〕

- ≡国語の勉強は好きですか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- 国語の授業はよくわかりますか。
- 解答を文章を書く問題を最後まで努力した。

〔算数〕

- 算数の勉強は好きですか。
- 算数は大切だと思う。
- 算数の授業はよくわかりますか。
- 言葉や数、式を使って、わけや求め方を解く問題を最後まで努力した。
- 算数は社会に出たときに役立つと思う。

中学校

〔国語〕

- 国語の勉強は好きですか。
- 国語の勉強は大切だと思いますか。
- ▲国語の授業はよくわかりますか。
- ▲解答を文章を書く問題を最後まで努力した。

〔数学〕

- ▲数学の勉強は好きですか。
- ≡数学は大切だと思う。
- ▲算数の授業はよくわかりますか。
- ▲言葉や数、式を使って、わけや求め方を解く問題を最後まで努力した。
- ▲算数は社会に出たときに役立つと思う。

【報告書P5～20】

全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果から

記号の意味：○全国平均を上回る ▲全国平均を下回る

△1. 自己肯定感・有用感は、小学生で増加し○、中学生で減少した▲
(P21)

△2. 「夢や目標を持っている」との回答は小学生で増加し、中学生で減少した▲
(P22)

△3. 「人が困っているとき、進んで助ける」との回答は小学生で減少▲、中学生で増加した○
(P23)

▲4. 朝食摂取習慣は上昇した
(P24)

▲5. 平日、家庭学習を1時間以上する小学生の割合は全道・全国を上回り、中学生は増加傾向にあるものの全道・全国を下回る
(P26)

全国学力・学習状況調査における学校質問紙の結果から

記号の意味：○全国平均を上回る ▲全国平均を下回る

- 1. おおむね落ち着いた学習態度であるが、児童・生徒のよい点や可能性を評価（褒めるなど）や自己肯定感・自己有用感を育成する指導等の継続が大切（P35）
- 2. 「主体的・対話的で深い学び」「ICTを活用した個別最適な学び・協働的な学び」の継続が大切（P37～42）
- ▲3. 様々な学習場面における1人1台端末等の活用頻度は、中学校よりも小学校に積極的。その効果的活用に向け、さらなる研修の充実が必要（P41）
- 4. 地域の人材活用や小中間の連携教育は、小学校、中学校ともに進展傾向（P43～45）
- 5. 全国学力・学習状況調査の結果を教育活動の改善に生かしている（P46）

今後の改善方策

1. 「授業改革」のさらなる推進

- (1) 1人1台端末を有効に活用した「個別最適な学び」と「対話的な学び」の実現
- (2) 思考力・判断力・表現力を育成する「対話を重視」した学習活動の充実
(特に、算数・数学)
- (3) 伸びしろ層・中間層・定着層の各層が伸びる学習指導の充実(少人数指導含む)
- (4) 国語科「読むこと領域」における「系統的な学習内容」の指導と適切な「言語活動」の設定

学力保障に向けた改善方策

2. 「確実に身につける」学力保障のさらなる推進

(5) 1単位時間における振り返り・適用問題による習熟場面の確保

(6) AIドリルを活用した補充学習の充実
(家庭学習、朝学習、放課後学習)

(7) 各中学校区「小中連携の日」の実施(年間1～2回)

(8) 家庭学習の習慣化に向けた根気強い指導

市教委として

だれが

次 長
学校教育主事
学校教育課
社会教育課

どんなこと

1. 「授業改革」のさらなる推進

～対話重視と1人1台の有効活用 等

2. 「確実に身につける」学力保障のさらなる推進

～AIドリルの有効活用した家庭学習 等

3. 学力保障に向けた人的支援・物的支援

～SAT・学生ボランティアによる学習支援、ICT支援員・電子黒板追加導入、小学校へのコラボノート導入 等

どこで

- 学校訪問
- 校長会議・教頭会議
- 研修会

ウインターセミナー

- ①1人1台端末を有効活用した授業改革、家庭学習の充実
- ②算数・数学の授業改革の実際
- ③今、求められている外国語科の授業とは